

## 総合科学教育研究センター教員個人業績

### 凡 例

以下は、秋田県立大学総合科学教育研究センター所属教員の2014年1月1日から2014年12月31日までに公表あるいは実施された主な業績を示すものである。業績の分類は、以下の5つのカテゴリに従った。

- I 著書・学術論文等
- II 学会報告等
- III 社会活動・受賞等
- IV 講演・公開講座等
- V その他の活動

高橋 秀晴 教授

## I 著書・学術論文等

### \*学術論文等

- 1) 高橋秀晴「武者小路実篤と秋田」『新しき村』（財団法人新しき村）2014年2月1日、第66巻第2号、10～13ページ（単著）（要請により『秋田文学』第4次第22号掲載論文転載）
- 2) 高橋秀晴「望嶽楼の夢—滝田栲陰と近代文学者—」（秋田魁新報社）2014年4月5日～、土曜文化欄連載（単著）

### \*講演録

- 1) 高橋秀晴「作品としての現代文定番教材—「羅生門」「山月記」「こころ」の可能性を探る—」『研究紀要』（秋田県高等学校教育研究会国語部会）2014年3月、第50号、28～32ページ（単著）
- 2) 高橋秀晴「松田解子と近現代史」『秋田歴研協会誌』（秋田県歴史研究者・研究団体協議会）2014年5月31日、第55号、2～5ページ（単著）
- 3) 高橋秀晴「産めるものわれら／世界の母われら—松田解子の文学世界—」『会報』（松田解子の会）2014年8月28日、第20号、2～15ページ（単著）

## II 学会報告等

### \*学会報告

- 1) 高橋秀晴「金子洋文と雑誌『種蒔く人』」（秋田風土文学会）2014年2月15日（於：あきた文学資料館）

## III 社会活動・受賞等

### \*社会活動

- 1) 秋田県立秋田南高等学校学校評議員、2005年4月～
- 2) 秋田県高等学校教育研究会国語部会顧問、2006年7月～
- 3) あきた文学資料館収集検討委員、2007年4月～
- 4) 秋田県脳血管研究センター医薬品受託研究審査会委員、2007年11月～
- 5) 秋田県青少年環境浄化審議会会長、2010年1月～2014年3月
- 6) 私大・短大魅力アップ支援事業審査委員会委員、2010年6月～
- 7) 第29回国民文化祭仙北市実行委員会【秋田の文学・作家を語る】企画委員、2012年10月～2014年12月
- 8) 秋田県芸術選奨選考委員、2013年3月～
- 9) 秋田市公文書管理委員会委員、2013年5月～
- 10) 秋田県青少年健全育成審議会副会長・部会長、2014年4月～
- 11) 第29回国民文化祭仙北市事業「秋田の文学について知ろう」調べ学習コンクール審査員、2014年4月～2014年12月
- 12) 第137回秋田県種苗交換会キャッチフレーズ選定委員会委員、2014年6月～7月
- 13) A B S 秋田放送番組審議会委員長、2014年7月～
- 14) 第29回国民文化祭・秋田2014応援事業「東日本大震災／書による復興応援メッセージ展」審査員2014年8月～9月

- 15) 秋田県文化財保護審議会委員、2014年 9 月～
- 16) 秋田市立佐竹資料館寄贈および寄託事前審査会委員、2014年10月～

\* 学会活動

- 1) 日本近代文学会東北支部運営委員、1995年 5 月～
- 2) 日本社会文学会評議員、2007年 7 月～
- 3) 地域文化研究会 AKITA 事務局長、2009年 4 月～
- 4) 日本比較文学会東北支部幹事、2009年 6 月～2014年 7 月
- 5) 『東北近代文学事典』編集委員、2009年10月～
- 6) 日本社会文学会理事、2011年 6 月～
- 7) 日本近代文学会東北支部長、2014年 7 月～
- 8) 日本近代文学会東北支部夏季大会運営、2014年 7 月 5 日
- 9) 日本近代文学会東北支部冬季大会運営、2014年12月23日

#### IV 講演・公開講座等

\* 講演・公開講座

- 1) 日本文学同好会「石坂洋次郎の文学と横手時代」2014年 4 月13日（於：あきた文学資料館）
- 2) 明德館こんわ会研修会「山田順子と秋声・夢二」2014年 4 月18日（於：秋田市民俗芸能伝承館）
- 3) 秋田県歴史研究者・研究団体協議会第20回大会記念講演「松田解子と近現代史」2014年 4 月26日（於：あきた文学資料館）
- 4) 松田解子没後10周年記念講演会「産めるものわれら／世界の母われら—松田解子の文学世界—」2014年 5 月19日（於：さきがけホール）
- 5) あきた文学資料館文学講座「原稿と作品の狭間に—滝田栲陰旧蔵資料が語ること—」2014年 6 月29日（於：あきた文学資料館）
- 6) 教員免許状更新講習「秋田の近代文学」2014年 7 月28日（於：秋田県立大学）
- 7) 秋田市女性学習センター近代文学講座「没後10年の今／松田解子を読み歩く」2014年 9 月18日（於：サンパル秋田）
- 8) 秋田市女性学習センター近代文学講座「没後10年の今／松田解子を読み歩く（移動学習）」2014年 9 月25日（於：松田解子文学記念室）
- 9) 平成26年度秋田県高等学校教育研究会国語部会中央地区国語教育研究大会講演会「「流るゝまゝに」—山田順子という生き方—」2014年10月 3 日（於：秋田県立西目高等学校）
- 10) 第29回国民文化祭・あきた2014文学講座「もし新潮社がなかったら—近代文学史の中の佐藤義亮—」2014年10月 6 日（於：仙北市総合情報センター）
- 11) 中央図書館明德館のリレー講座「「私ひとりの私」を貫く—石川達三の唯一性—」2014年10月13日（於：秋田市立中央図書館明德館）
- 12) 本荘お母さん読書会創立50周年記念講演「秋田の女性作家—順子・解子・津世子の三者三様—」2014年11月 3 日（於：ホテルアイリス）
- 13) 秋田県退職婦人教職員協議会記念講演「闘う作家・松田解子」2014年11月11日（於：さとみ温泉）
- 14) 第50回秋田県国語教育研究協議会潟上・南秋大会講演「国語教育私感—中学・高校・高専・大学での

実践を踏まえてー」2014年11月14日（於：五城目町立五城目第一中学校）

- 15) 高校生のための文学講座「故意か過失かー志賀直哉「范の犯罪」の真相ー」2014年11月15日（於：あきた文学資料館）

## V その他の活動

### \* 助成研究

- 1) 平成26年度科学研究費補助金（基盤研究（C））「新資料による金子洋文研究」（課題番号24520221）  
研究代表者
- 2) 大学コンソーシアムあきた平成26年度学際的研究プロジェクト「秋田県の活性化のための調査研究」  
共同研究者

### \* 報告書等

- 1) 「新資料による金子洋文研究」（科学研究費補助金報告書、2014年5月）（単著）

### \* 新聞・雑誌掲載等

- 1) 「新資料に秘められた可能性／滝田栲陰を考える」『秋田魁新報』2014年2月27日（単著）
- 2) 「クラルテ運動と「種蒔く人」」『日本比較文学会東北支部会報』2014年3月1日、VOL.19、7ページ（単著）
- 3) 「気骨の作家松田解子百年の軌跡／既成の解釈に縛られず」『秋田魁新報』2014年12月21日（単著）

### \* 記事・取材協力等

- 1) 「研究・関連資料／「近代文学講座「松田解子の中の女性像」」『松田解子の会会報』2014年1月27日、第19号、27ページ
- 2) 「第三十一回高校生のための文芸セミナー」『文芸』2014年2月13日、第34号、2ページ
- 3) 「26日に県歴研協が講座」『秋田魁新報』2014年4月22日
- 4) 「東海の文学風土記／名古屋時代の矢田津世子」『中日新聞』2014年5月9日
- 5) 「松田解子の会／秋田を訪ねるたび」『協和の鉦山と松田解子文学を伝える会会報』2014年5月10日、第20号、17ページ
- 6) 「松田さん没後10周年講演会」『秋田魁新報』2014年5月16日
- 7) 「さきがけホール情報／松田解子没後10周年記念講演会／高橋秀晴県立大学教授による講演「松田解子の文学世界」」『秋田魁新報』2014年5月19日
- 8) 「大仙出身プロレタリア作家没後10周年／松田解子さんの功績解説／さきがけホール／県立大教授講演」『秋田魁新報』2014年5月20日
- 9) 「あきた文学資料館が講座」『秋田魁新報』2014年6月12日
- 10) 「「五郎が斬る！SP」を合評／秋田放送番組審議会」『秋田魁新報』2014年7月30日
- 11) 「百年の待ち人」『秋田県立図書館だより』2014年7月、VOL.80
- 12) 「大学の特色、興味津々／県内高1生徒対象ガイダンス／105人が教授と意見交換」『秋田魁新報』2014年8月10日
- 13) 「文学講座「もし新潮社がなかったらー近代文学史の中の佐藤義亮ー」」『国民文化祭仙北市ガイドブック』2014年9月1日
- 14) 中央図書館明徳館のリレー講座「『私ひとりの私』を貫くー石川達三の唯一性ー」『広報あきた』2014

年 9 月 19 日、No1825、15 ページ

- 15) 「日本！食紀行」を合評／秋田放送番組審議会『秋田魁新報』2014 年 9 月 27 日
- 16) 「新潮社創業者の生涯や功績学ぶ／仙北市文学講座に 30 人」『秋田魁新報』2014 年 10 月 8 日
- 17) 「センチメンタル」を合評／秋田放送番組審議会『秋田魁新報』2014 年 10 月 29 日
- 18) 「由利本荘／本荘お母さん読書会／読んで学び半世紀／継続誓い記念の集い」『秋田魁新報』2014 年 11 月 5 日
- 19) 「日本！食紀行」を合評／秋田放送番組審議会『秋田魁新報』2014 年 11 月 27 日
- 20) 「秋田の文学について知ろう」『仙北市国民文化祭記録誌』2014 年 12 月、5 ページ

\* 被書評・引用・言及等

- 1) 「新刊紹介／荻野富士夫編『多喜二の文学、世界へ』」『社会文学』（日本社会文学会）2014 年 2 月 28 日、第 39 号、208～209 ページ
- 2) 「印象記」『日本比較文学会東北支部会報』（日本比較文学会東北支部）2014 年 3 月 1 日、VOL.19、7 ページ
- 3) 「「売り込まれる」文学、「売り立てられる」文学—滝田栲陰と大正期「中央公論」をめぐる〈攻防〉—」『文学』（岩波書店）2014 年 5 月 26 日、隔月刊第 15 巻第 3 号、52 ページ
- 4) 「松田解子没後十周年記念号」『会報』（松田解子の会）2014 年 8 月 28 日、第 20 号、1 ページ
- 5) 「記念文芸講演会でのあいさつ」『会報』（松田解子の会）2014 年 8 月 28 日、第 20 号、17 ページ
- 6) 「「おりん口伝」と松田解子さんの足跡を訪ねる旅」『会報』（松田解子の会）2014 年 8 月 28 日、第 20 号、21～22 ページ
- 7) 「松田さんの生涯を再確認」『会報』（松田解子の会）2014 年 8 月 28 日、第 20 号、24 ページ
- 8) 「秋田へ旅をして」『会報』（松田解子の会）2014 年 8 月 28 日、第 20 号、25 ページ
- 9) 「松田解子を語る会」『松田解子／愛と闘いの 99 年』（新日本出版社）2014 年 10 月 10 日、147 ページ
- 10) 「作家・松田解子さん追悼番組を作って」『松田解子／愛と闘いの 99 年』（新日本出版社）2014 年 10 月 10 日、148 ページ
- 11) 「乳を売る 朝の霧」『松田解子／愛と闘いの 99 年』（新日本出版社）2014 年 10 月 10 日、148 ページ
- 12) 『多喜二・百合子研究会会報』（多喜二・百合子研究会）2014 年 10 月 15 日、第 206 号、14 ページ
- 13) 「創立五〇周年・例会一一〇〇回記念の集い記念講演／秋田の女性作家—順子・解子・津世子の三者三様—」『さわらび』（本荘お母さん読書会）2014 年 12 月 20 日、第 48 号、34～35 ページ

## 渡部 諭 教授

### I 著書・学術論文等

\* 著書

- 1) 『新しい心理学へのアプローチ』（保育出版社）2014 年 1 月 15 日（共著）
- 2) 『自ら挑戦する社会心理学』（保育出版社）2014 年 1 月 31 日（共著）

\* 学術論文等

- 1) 澁谷泰秀、渡部諭「高齢者の社会情動的選択性とリスク志向性が生活の質に及ぼす影響」『青森大学・

青森短期大学研究紀要』(青森大学) 2014年11月 1 日、第36巻、第 2 号、9 ～32ページ (共著)

- 2) 渡部諭、荒樋豊、澁谷泰秀、吉村治正、小久保温「高齢者における詐欺犯罪に対する脆弱性 分類分析を用いて」『秋田県立大学ウェブジャーナルA：地域貢献部門』(秋田県立大学) 2015年 1 月 7 日、Vol.2、1 ～11ページ (共著)
- 3) 澁谷 泰秀、渡部 諭、吉村 治正、小久保 温「肯定的項目と否定的項目が社会調査データの分析に及ぼす影響：古典的テスト理論を用いた分析」『青森大学付属総合研究所紀要』(青森大学) 2015年 1 月 30日、第16巻、第 1 号、1 ～13ページ (共著)

## II 学会報告等

### \* 学会報告

- 1) Satoshi,W. & Hirohide,S. "Taxometric analysis for the elderly's vulnerability to fraud ", Cognitive Aging Conference 2014, 2014年 4 月 3 ～ 6 日 (於：Atlanta, Georgia)
- 2) 久保田力、渡部諭、杉山朗子「人間関係の色 ―イメージ調査から―」第56回印度学宗教学会学術大会、2014年 6 月 1 日 (於：種智院大学)
- 3) 澁谷泰秀、渡部諭「項目のワーディングが尺度に及ぼす影響：項目反応理論と古典的テスト理論を用いた社会調査データの分析」日本テスト学会第12回大会、2014年 8 月30・31日 (於：帝京大学)
- 4) 渡部昌平、渡部諭、小池孝範「高校生大学生のキャリア意識の自己評価と教員評価の差の検討」日本心理学会第78回大会、2014年 9 月10～12日 (於：同志社大学)
- 5) 久保田力、渡部諭、杉山朗子「人間関係の色イメージについての男女の相関性 ― イメージ調査から ― 」 ～ 特に父母の色イメージについて」日本宗教学会第73回学術大会、平成26年 9 月12～14日 (於：同志社大学)
- 6) 渡部諭、澁谷泰秀、吉村治正、小久保温「高齢者の詐欺犯罪脆弱性についての taxometric 分析」日本認知科学会第31回大会、2014年 9 月18日～20日 (於：名古屋大学)
- 7) Satoshi,W." Future time perspective and satisfaction among the elderly ―Looking at how personal networks are maintained by the elderly in Japan ―"2014年10月11・12日 (於：Beijing International Convention Hotel)
- 8) Satoshi,W., Hirohide,S., Harumasa,Y. & Atsushi,K." Analysis of personality networks maintained by the elderly in Japan"2014年11月29～30日 (於：新潟市朱鷺メッセ)
- 9) 小久保温、澁谷泰秀、柏谷至、吉村治正、渡部諭「ウェブ社会調査におけるデバイスによる反応の相違に関する研究」2015年 3 月17～19日 (於：京都大学)

## IV 講演・公開講座等

### \* 講演・公開講座

- 1) 三種町男女共同参画事業基礎講座「アサーティブ・トレーニング講座～自分の気持ちを上手に表現～」、2015年 2 月21日 (於：三種町琴丘公民館)



## V その他の活動

### \* 助成研究

- 1) 日本学術振興会科学研究費（基盤研究（C））「超高齢化農村コミュニティの再生－住民意欲醸成手法の開発」（課題番号26450331）、2014年4月～2017年3月、研究分担者
- 2) 日本学術振興会科学研究費（基盤研究（C））「郵送調査とWeb調査のハイブリッド調査から完全Web調査への移行に関する研究」（課題番号50295953）、2014年4月～2017年3月、研究分担者
- 3) 日工組社会安全財団研究助成「振り込め詐欺脆弱性についての高齢者の認知特性に関するtaxometric分析」2014年5月～2015年10月、研究代表者

### \* 記事・コラム・取材協力等

- 1) NHK 社会部よりメールによる取材「振り込め詐欺調査について」2014年4月6日～5月10日
- 2) 小学館週刊ポストよりメールによるコメント取材「高齢者（主に70代以上）の経済生活、日用品などの購買パターン」2014年10月15日
- 3) 長崎テレビ電話インタビュー「振り込め詐欺の防止対策の研究」2014年12月16日、17日放送

## 小松田儀貞 准教授

### I 著書・学術論文等

#### \* 学術論文等

- 1) 小松田儀貞「戦前秋田における電力事業の展開——地域的履歴と現在への示唆——」『秋田県立大学総合科学教育研究彙報』2014年、第15号、11～25ページ
- 2) 小池孝範・小松田儀貞「社会的包摂の視点に基づく新たな「キャリア教育」の可能性——秋田県藤里町の就労支援の取り組みから——」『秋田県立大学総合科学教育研究彙報』2014年、第15号、27～40ページ

### II 学会報告等

#### \* 学会報告

- 1) 小松田儀貞「秋田県藤里町における「生活困難者」就労支援の試み—社会的包摂の視点から」第61回東北社会学会大会、2014年7月27日（於：秋田県生涯学習センター分館ジョイナス）

#### \* 研究会報告

- 1) 小松田儀貞「避難者および避難者支援～秋田の動き」基盤研究（A）「東日本大震災と日本社会の再建——地震、津波、原発震災の被害とその克服の道」定例研究会、2014年9月8日（於：福島大学行政社会学部）

### III 社会活動・受賞等

#### \* 社会活動

- 1) エフエム秋田番組審議委員、2008年4月～（副委員長2010年4月～）

- 2) 秋田うつくしま県人会事務局、2011年7月～
- 3) 秋田県立博物館協議会委員（副会長）、2013年7月～
- 4) 「秋田ゆかりの映画祭」実行委員会委員、2013年12月～2014年10月

#### IV 講演・公開講座等

##### \* 講演・公開講座

- 1) 「「地域」で何ができるか～ "文化" を通して考える～」第6回サイエンス基礎講座、2014年7月15日（於：秋田中央高校）

#### V その他の活動

##### \* 助成研究

- 1) 2012～2015年度基盤研究（A）「東日本大震災と日本社会の再建——地震、津波、原発震災の被害とその克服の道」研究課題番号：24243057（研究代表者・加藤眞義福島大学教授）研究協力者
- 2) 2012～2014年度基盤研究（C）「エネルギーの地域自主管理システムの構築に関する環境社会学的研究」研究課題番号：24530636（研究代表者・谷口吉光秋田県立大学教授）研究分担者
- 3) 2014～2016年度基盤研究（C）「地域コミュニティに基盤を置いた社会的包摂と包括的キャリア教育に関する研究」研究課題番号：26381090（研究代表者・小池孝範秋田大学准教授）研究分担者
- 4) 平成25年度秋田県立大学長裁量研究費研究「経済社会像の転換と地域社会における社会的包摂の意義と可能性」研究代表者

##### \* 寄稿

- 1) 「安倍政権の強さって？社会学者に聞く」『北羽新報』2014年12月11日

#### 内山 応信 准教授

#### I 著書・学術論文等

##### \* 学術論文等

- 1) Kubota H、Demura S、Uchiyama M、Takahashi K「Effect of Repeated Training on Controlled Force Exertion and Retention in Dominant and Nondominant Hands.」『American Journal of Sports Science and Medicine』2014年、第1巻4号、132～135ページ（共著）
- 2) Demura T、Demura S、Uchiyama M、Sugiura H「Examination of factors affecting gait properties in healthy older adults: focusing on knee extension strength, visual acuity, and knee joint pain.」『Journal of Geriatrics and Physical Therapy』2014年、第37巻2号、52～57（共著）

##### \* Proceeding

- 1) 山次俊介、出村慎一、内山応信、佐藤敏郎、杉本寛恵「転倒リスク調査票による易転倒性女性高齢者の転倒関連体力および認知機能水準」『体力科学』（日本体力医学会）2014年12月1日、第63巻6号、628ページ（共著）
- 2) 内山応信、出村慎一、山次俊介、松田繁樹「Wavelet 変換を用いた足圧中心動揺スペクトルの経時



- 的変動観察の試み」『体力科学』（日本体力医学会）2014年12月1日、第63巻6号、701ページ（共著）
- 3）内田雄、出村慎一、内山応信、辛紹熙、杉本寛恵「前方補助を伴う片脚立位中の筋活動量～片脚立位成就能力が異なる高齢者間の比較～」『体力科学』（日本体力医学会）2014年12月1日、第63巻6号、727ページ（共著）

## II 学会報告等

### \* 学会報告

- 1）内山応信、出村慎一、川端悠、北林保「大学生における精神的健康と過去及び現在の運動・生活習慣の関係」日本体育測定評価学会第13回大会、2014年3月9日（於：天理大学体育学部）
- 2）川端悠、出村慎一、北林保、内山応信「視標追従テストによって転倒リスクをスクリーニングするための試み①—転倒経験群と非転倒経験群の比較」日本体育測定評価学会第13回大会、2014年3月9日（於：天理大学体育学部）
- 3）内山応信、出村慎一、「障害物 TUG テストは後期高齢期における健常高齢者の移動能力評価に適している」第62回日本教育医学会大会、2014年8月19日（於：岐阜大学）
- 4）佐藤進、出村慎一、坪内伸司、内山応信「皮下脂肪蓄積容量と性および肥満タイプの関係」第62回日本教育医学会大会、2014年8月19日（於：岐阜大学）
- 5）北林保、出村慎一、内山応信、松田繁樹、内田雄「健常高齢者と障害高齢者の足圧中心動揺特性の比較」第62回日本教育医学会大会、2014年8月19日（於：岐阜大学）
- 6）内山応信、出村慎一、北林保、山田孝禎「Wavelet 変換による足圧中心動揺スペクトルの経時的変動観察の試み」日本体育学会第65回大会、2014年8月27日（於：アイーナいわて県民情報交流センター及びマリオス岩手地域交流センター）
- 7）佐藤進、出村慎一、佐藤敏郎、内山応信「日本人男性の皮下脂肪蓄積容量に及ぼす年齢段階の影響」日本体育学会第65回大会、2014年8月27日（於：アイーナいわて県民情報交流センター及びマリオス岩手地域交流センター）
- 8）山田孝禎、出村慎一、中田征克、内山応信「地域在宅高齢者の転倒リスク保有数は転倒による外傷の程度に影響するか」日本体育学会第65回大会、2014年8月27日（於：アイーナいわて県民情報交流センター及びマリオス岩手地域交流センター）
- 9）山次俊介、出村慎一、内山応信、佐藤敏郎、杉本寛恵「転倒リスク調査票による易転倒性女性高齢者の転倒関連体力および認知機能水準」第69回日本体力医学会大会、2014年9月20日（於：長崎大学文教キャンパス）
- 10）内山応信、出村慎一、山次俊介、松田繁樹「Wavelet 変換を用いた足圧中心動揺スペクトルの経時的変動観察の試み」第69回日本体力医学会大会、2014年9月20日（於：長崎大学文教キャンパス）
- 11）内田雄、出村慎一、内山応信、辛紹熙、杉本寛恵「前方補助を伴う片脚立位中の筋活動量～片脚立位成就能力が異なる高齢者間の比較～」第69回日本体力医学会大会、2014年9月20日（於：長崎大学文教キャンパス）

### \* ワークショップ

- 1）内山応信「日本体育学会測定評価分科会企画統計相談、測定・調査・テスト部門、統計相談員」日本体育学会第65回大会、2014年8月27日（於：アイーナいわて県民情報交流センター及びマリオス岩手

地域交流センター)

### Ⅲ 社会活動・受賞等

#### \* 社会活動

- 1) 秋田県スポーツ科学センター成人スポーツ実施率向上事業「市町村スポーツ推進委員等に対するスポーツ活動プログラムの提供」講師、2014年10月～
- 2) 秋田県スポーツ科学センター AKITA スーパーわか杉っ子発掘プロジェクト実効委員会委員、2011年5月～
- 3) 秋田県スポーツ科学センターアスリート総合診断アドバイザー、2009年5月～
- 4) 秋田県脳血管研究センター医薬品受託研究審査委員会委員、2010年4月～
- 5) のしろ市民まちづくりフォーラム「ときめき朝市体操」講師、2014年6月22日～
- 6) 大曲スポーツクラブ「中高年の健康講座」講師、2014年1月31日

#### \* 学会活動

- 1) 日本体育学会第65回大会（アイーナいわて県民情報交流センター及びマリオス岩手地域交流センター）測定評価学会優秀発表審査員（ポスター発表部門）、平成26年8月27日

### Ⅳ 講演・公開講座等

#### \* 講演・公開講座

- 1) 秋田県高等教育課高校生未来創造支援事業キャリア教育総合推進事業 講師「将来設計ガイダンス」2014年8月10日（於：秋田県立大学）

### Ⅴ その他の活動

#### \* 助成研究

- 1) 日本学術振興会科学研究費助成（挑戦的萌芽研究）、「易転倒高齢者の環境条件変化に対するバランス適応能力とその日内変動の解明」（Research Project Number: 25560371）、2013年4月～2016年3月、研究代表者
- 2) 日本学術振興会科学研究費助成（挑戦的萌芽研究）、「視線解析と光イメージング脳機能測定を併用した英文読解の個人差特定に関する研究」（Research Project Number: 24652124）、2012年4月～2014年3月、研究分担者
- 3) 日本学術振興会科学研究費助成（基盤研究（C））、「超高齢化農村コミュニティ再生—住民意欲醸成手法の開発」（Research Project Number: 26450331）、2014年4月～2017年3月、研究分担者

#### \* 報告書等

- 1) 科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）実施状況報告書（研究実施状況報告書）（平成25年度）、「易転倒高齢者の環境条件変化に対するバランス適応能力とその日内変動の解明」（Research Project Number: 25560371）

#### \* 記事・コラム・取材協力等

- 1) 「日曜朝市始まる 新鮮、安全さが売り 能代市常盤ときめき隊 秋田音頭で健康体操も」『北羽新聞』、2014年6月

- 2) 「平成26年 6 月22日（日）常盤ときめき隊日曜朝市スタート編」『のしろ白神ネットワーク Report』、2014年 6 月
- 3) 「平成26年11月23日（日）ときめき朝市体操を終えて編」『のしろ白神ネットワーク Report』、2014年11月

宮本 雲平 准教授

I 著書・学術論文等

\* Proceeding

- 1) 宮本雲平「流体としてのブラックホール：重力物理と流体力学の接点」『数理解析研究所講究録』（京都大学数理解析研究所）2014年 4 月 1 日、第1890巻、136～148ページ（単著）

II 学会報告等

\* 学会報告

- 1) 宮本雲平、小磯深幸「Liquid bridges and black strings in higher dimensions II: stability」日本物理学会第69回年次大会、2014年 3 月30日（於：東海大学）
- 2) Miyamoto, U. 「Liquid bridges and black strings in general dimensions: Stability」 Three day workshop in "Holographic vistas on Gravity and Strings" program、2014年 5 月26日（於：京都大学基礎物理学研究所）

IV 講演・公開講座等

\* 講演・公開講座

- 1) 名古屋大学 QG 研講演会「ブラックストリング不安定性和流体・重力対応」、2014年 2 月17日（於：名古屋大学）
- 2) 秋田県立大学総合科学教育研究センター主催、教養と遊ぶ：県立大学市民公開セミナー、「アインシュタインの遺産：一般相対論・ビッグバン・ブラックホール」、2014年 4 月19日（於：秋田県立大学本荘キャンパス）
- 3) 秋田県立大学創造工房主催、創造楽習「LaTeX でかっこいい論文を書こう：数式を自由自在に書けるようになる」、2014年 6 月23日（於：秋田県立大学本荘キャンパス）
- 4) 秋田県教育委員会主催、高校生将来設計ガイダンス、学問別ガイダンス「物理学」、2014年 8 月10日（於：秋田県立大学秋田キャンパス）
- 5) 秋田県立大学創造工房主催、創造楽習「Mathematica 入門：計算を楽しく、グラフを美しく」、2014年11月20日・27日（於：秋田県立大学本荘キャンパス）

V その他の活動

\* 助成研究

- 1) 文部科学省科学研究費（若手研究（B））「変分法と流体力学を用いたブラックホール物理への新たな

アプローチの実践」研究代表者

鈴木 祐丞 助教

I 著書・学術論文等

\* 著書

- 1) 『キェルケゴールの信仰と哲学』（ミネルヴァ書房）2014年10月10日（単著）

\* 学術論文等

- 1) 鈴木祐丞「生に対する真剣さーキェルケゴールの魅力」『新キェルケゴール研究』（キェルケゴール協会）2014年5月15日、第12号、54～62ページ（単著）
- 2) 鈴木祐丞「キェルケゴールの新版原典全集（SKS）の特徴と意義について」『名古屋商科大学論集』（名古屋商科大学論集研究紀要委員会）2014年3月1日、第58巻第2号、167～174ページ（単著）
- 3) 鈴木祐丞「ウィトゲンシュタインのキェルケゴール体験ー『キリスト教の修練』の宗教哲学を生きることー」『宗教研究』（日本宗教学会）2014年12月、第88巻第3号（単著）

II 学会報告等

\* 学会報告

- 1) 鈴木祐丞「キェルケゴールの日記ー主体的思想家キェルケゴールの二重の内省の表現のための媒体としてー」実存思想協会第30回大会、2014年6月21日（於：東北大学）

III 社会活動・受賞等

\* 学会活動

- 1) 日本キェルケゴール研究センター書記幹事、2013年1月～

V その他の活動

\* 助成研究

- 1) 平成26年度スカンジナビア・ニッポン ササカワ財団研究助成（『キェルケゴールの実存的思想』の出版および関係機関への寄贈）、2014年1月～2014年12月、研究代表者

渡部 昌平 准教授

I 著書・学術論文等

\* 学術論文等

- 1) 渡部昌平「『適応』の視点からキャリア支援を見直すー生物的・社会的・発達の側面からキャリア適応を考えるー」『秋田県立大学総合科学研究彙報』（秋田県立大学総合科学教育研究センター）2014年3月31日、第15号、41～44ページ（単著）

- 2) 渡部昌平、菅原良「大学間交流を活性化するための探索的研究－学生に対するヒアリング調査から」『秋田県立大学総合科学研究彙報』（秋田県立大学総合科学教育研究センター）2014年3月31日、第15号、95～96ページ（共著）

## II 学会報告等

### \* 学会報告

- 1) 渡部昌平「中学校キャリア教育の課題に関する探索的研究－生徒と教員の評価のちがいからみる課題」日本発達心理学会第25回大会、2014年3月22日（於：京都大学）
- 2) 渡部昌平、菅原良「大学間交流の阻害要因に関する探索的研究」日本社会心理学会第55回大会、2014年7月26日（於：北海道大学）
- 3) 渡部昌平「学生に主体性を意識させる工夫（アメリカ・生涯キャリア発達論からの示唆）」日本リメディアル学会第10回全国大会、2014年8月21日（於：東京電機大学東京千住キャンパス）
- 4) 渡部昌平「キャリア教育におけるコミュニケーション教育の内容を考える」第64回東北・北海道地区高等・共通教育研究会、2014年9月5日（於：帯広畜産大学）
- 5) 渡部昌平、渡部諭、小池孝範「高校生大学生のキャリア意識の自己評価と教員評価の差の検討～キャリア教育とキャリア意識、キャリア意識と態度・行動は一致するのか」日本心理学会第78回大会、2014年9月10日（於：同志社大学）
- 6) 菅原良、渡部昌平「地方大学における学生の大学間交流活動の阻害要因に関する研究」日本キャリアデザイン学会第11回研究大会、2014年9月13日（於：東京家政大学板橋キャンパス）
- 7) 渡部昌平「産業界のニーズを踏まえた学生育成を考える～北海道・東北ブロック企業ニーズ調査の結果を踏まえて」日本産業カウンセリング学会第19回大会、2014年9月15日（於：大正大学）
- 8) 渡部昌平「大学生の自己理解と仕事理解－自己理解と仕事理解の発達に関する探索的研究－」日本教育カウンセリング学会第12回研究発表大会、2014年11月1日（於：かごしま県民交流センター）
- 9) 成田実、渡部昌平「高校生の自己理解と仕事理解－自己理解と仕事理解の発達に関する探索的研究」日本教育カウンセリング学会第12回研究発表大会、2014年11月1日（於：かごしま県民交流センター）
- 10) 渡部昌平、小池孝範、渡部諭「小中学校におけるキャリア教育の課題について－児童・生徒の自己理解・仕事理解について考える－」日本教育カウンセリング学会第12回研究発表大会、2014年11月2日（於：かごしま県民交流センター）
- 11) 荻野友佑子、渡部昌平「職業カードソートの適用範囲について－若者以外への適用を考える－」日本キャリア教育学会第36回研究大会、2014年11月22日（於：琉球大学）
- 12) 渡部昌平「質的キャリア・アセスメントについて考える－「標準化されていないテスト」の効用と適用可能性－」日本キャリア教育学会第36回研究大会、2014年11月23日（於：琉球大学）
- 13) 菅原良、渡部昌平、勝又あずさ、神崎秀嗣「大学間学生交流活動の阻害要因測定尺度の開発と評価」第9回パーソナルコンピュータ利用技術学会全国大会（第32回パソコン利用技術研究集会）、2014年12月6日（於：慶応大学日吉キャンパス）

### \* ワークショップ

- 1) 渡部昌平、菅原良「「主体性」を意識させる工夫」日本発達心理学会、2014年3月22日（於：京都大学）

- 2) 渡部昌平、下村英雄、新日真紀、五十嵐敦「新しいキャリア・アセスメントー質的キャリア・アセスメントを考える」日本産業カウンセリング学会、2014年9月13日（於：大正大学）

\* 学会報告座長

- 1) 日本教育カウンセリング学会 口頭発表第3分科会（キャリア教育）、2014年11月2日（於：かごしま県民交流センター）

### III 社会活動・受賞等

\* 社会活動

- 1) 秋田県地域訓練協議会会長、2012年6月～  
2) 秋田県ジョブ・カード運営本部会議委員、2012年11月～  
3) 秋田県生涯学習センター運営委員会委員、2013年11月～

\* 学会活動

- 1) 日本産業カウンセリング学会 理事（2014年9月～）

### IV 講演・公開講座等

\* 講演・公開講座

- 1) 平成25年度「委託訓練就職指導担当者のためのスキルアップセミナー」第5回「キャリア・ストーリーを紡ぐ～モチベーションを高める1つの方法」、2014年2月20日（於：新潟テクノスクール）  
2) 日本キャリア教育学会東北・北海道支部研修会「主体性を意識させる工夫」、2014年4月26日（於：アイーナ岩手県民情報交流センター）  
3) 秋田県中学校進路指導主事研修「新任進路指導主事研修講座～中学校におけるキャリア教育（にいくつかのヒントなど）」、2014年6月5日（於：秋田県総合教育センター）  
4) 由利本荘地区進路指導研究会「学級で、明日から使えるキャリア教育の小ネタ」、2014年8月4日（於：由利本荘市立由利中学校）  
5) 美郷町立美郷中学校職業講話「中2のあなたへ～仕事や社会と学校生活とのつながり：あなたの未来を考えよう！」「中1のあなたへ～目標の具体的なつくり方、満足できる・成長できる方法」、2014年8月5日（於：美郷町立美郷中学校）  
6) 秋田西高等学校模擬講義「文系の学び／コミュニケーション入門＋将来を考える」、2014年10月8日（於：秋田県立大学）  
7) 秋田県小学校キャリア教育推進研修Ⅱ「小学校におけるキャリア教育にいくつかのヒントなど」、2014年10月23日（於：秋田県総合教育センター）  
8) 大仙市立協和中学校職業講話「中3のあなたへ～これからの時代を生き抜くために」、2014年11月27日（於：プラザクリプトン）  
9) 日本産業カウンセラー協会東北支部 養成講座実技指導者研修「指導・教育のヒント」、2014年12月6日（於：アイーナ岩手県民情報交流センター）

\* その他

- 1) 大学コンソーシアムあきた 高大連携事業「自分について考える～将来設計の方法、周りとのコミュニケーション～」、2014年8月1日（於：カレッジプラザ）



- 2) 教員免許更新講習講師「自己理解・仕事理解のコツ～キャリア意識を促進する工夫」、2014年8月11日（於：秋田県立大学）
- 3) 教員免許状更新講習講師「自己理解・仕事理解のコツ～キャリア意識を促進する工夫」、2014年9月7日（於：秋田県立大学）

## V その他の活動

### \* 助成研究

- 1) 平成25年度科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）基盤研究（C）「小中高大を貫く効果的な「仕事理解」の内容・方法の具体化に関する研究」（（課題番号25381267）、2013年4月～2016年3月、研究代表者
- 2) 平成26年度大学コンソーシアムあきた研究助成「県内学生のコミュニケーションの特徴、苦手意識及びその克服に関する調査研究」、研究代表者

### \* 報告書等

- 1) 平成25年度大学コンソーシアムあきた研究助成「大学間交流の阻害要因について」

## 高階 悟 教授

### I 著書・学術論文等

#### \* 学術論文等

- 1) 高階悟「英語の高大連携授業への挑戦」『秋田県立大学総合科学研究彙報』（秋田県立大学総合科学教育研究センター）2014年3月31日、第15号、63～69ページ（単著）
- 2) 高階悟「松本昇編『亡霊のアメリカ文学 豊饒なる空間』（書評）『東北アメリカ文学研究』2014年3月31日、第37号、135-137

### II 学会報告等

#### \* 学会報告

- 1) 高階悟 「グアム大学夏期語学研修と秋田県立大学のグローバル化への取り組み」グローバル人材育成教育学会 第2回全国大会、2014年11月16日（於：国際教養大学）

### III 社会活動・受賞等

#### \* 社会活動

- 1) 秋田県 TOEIC 推進協議会 副委員長、2008年4月～
- 2) 東北英語教育学会 理事、2006年4月～
- 3) 日本リメディアル教育学会 理事、2013年9月～
- 4) 秋田英語英文学会 運営委員、2006年4月～
- 5) 日本アメリカ文学会東北支部 会計監査、2012年4月～

#### IV 講演・公開講座等

##### \* 講演・公開講座

- 1) 大学高校連携授業「コンピュータを使っの英語の授業」(秋田西高校生12名、金足農業高校 5 名)、2014年 7 月20日 (於：秋田県立大学)

#### V その他の活動

##### \* 報告書等

- 1) 「ゲアム大学夏期語学研修2013報告集」を編集、発行(秋田県立大学 国際交流室) 2014年 3 月
- 2) 平成26年度高校生未来創造支援事業将来設計ガイダンス、秋田県教育委員会主催、研究室訪問。大学の教育や研究について高校生と意見交換をする。2014年 8 月11日

### 高橋 守 教授

#### I 著書・学術論文等

##### \* 学術論文等

- 1) Mamoru Takahashi & Stephen Shucart 「Using Visual Images in Teaching Vocabulary: A Practice Report」、『秋田県立大学総合科学研究彙報』(秋田県立大学総合科学教育研究センター) 2014年 3 月31日、第15号、71-74ページ (共著)

##### \* Proceedings

- 1) Stephen Shucart & Mamoru Takahashi 「Motivating Students by Talking about Novels: On Character-driven Novels and Plot-driven Novels」『The 2013 Pan-SIG Proceedings』(全国語学教育学会 分野別専門部会) 2014年 4 月24日、235-239ページ (共著)

#### II 学会報告等

##### \* 学会報告

- 1) Stephen Shucart & Mamoru Takahashi、「Many Reasons that We should Use Hot Potatoes」全国語学教育学会(JALT) 分野別研究部会2014年次大会、2014年 5 月10日 (於：宮崎公立大学)
- 2) Mamoru Takahashi & Stephen Shucart、「Plot-driven vs. Character-driven Novels II」日本アメリカ文学会東北支部 6 月例会、2014年 6 月21日 (於：東北大学)
- 3) Mamoru Takahashi、「Using Hot Potatoes as a Moodle Module」日本 Moodle 協会 Moodle Summer Workshop in Hokkaido、2014年 9 月 1 日 (於：小樽商科大学)
- 4) Mamoru Takahashi、「Using Moodle Forum Discussions to Motivate Extensive Reading」全国語学教育学会 多読研究専門部会2014年度年次大会、2014年 9 月28日 (於：恵泉女学園大学)
- 5) 高橋守、「工学系学生への口頭発表技能と多読の指導」全国英語教育研究団体連合会秋田大会、2014年11月 8 日 (於：国際教養大学)
- 6) Mamoru Takahashi & Stephen Shucart、「Plot-driven Versus Character-driven Stories」全国語

学教育学会第40回年次国際大会、2014年11月22日（於：つくば国際会議場）

### Ⅲ 社会活動・受賞等

#### \* 社会活動

1) 第64回全国英語教育研究大会（全英連秋田大会）分科会発表者、2013年11月1日～2015年3月31日

#### \* 学会活動

1) 全国語学教育学会秋田支部役員（支部長兼プログラム担当役員）、2013年10月～

2) 日本ムードル協会 第7回日本ムードルムート投稿論文査読委員、2014年11月

### Ⅳ 講演・公開講座等

#### \* 講演・公開講座

1) 秋田県立大学市民公開セミナー講師 「コンピュータを使った教育を覗いてみませんか～Moodle 入門～」、2014年4月12日（於：秋田県立大学）

2) 平成26年度高校生未来創造支援事業 将来設計ガイダンス 研究室訪問Ⅰ 担当者、2014年8月11日（於：秋田県立大学）

3) 大学高校連携授業講師「高校生英語セミナー」、2014年9月8日、10月6日、10月20日（於：秋田県立大学）

### Ⅴ その他の活動

#### \* 報告

1) 全国語学教育学会『The Language Teacher』「秋田支部報告」、2014年第38巻 第1号

## 檜山 晋 教授

### Ⅰ 著書・学術論文等

#### \* 学術論文等

1) Hiyama, Susumu. 「Element Order in *The Blickling Homilies*: Part V」『秋田県立大学総合科学研究彙報』（秋田県立大学総合科学教育研究センター）2014年3月31日、第15号、53～62ページ（単著）

2) 檜山晋「英文読解の手引き一言語学の知見とその応用一」『秋田県立大学ウェブジャーナルA』（秋田県立大学）2014年3月31日、第1号、54～61ページ（単著）

### Ⅴ その他の活動

#### \* 講演・公開講座

1) 大学高校連携授業「由利高等学校・秋田県立大学英語連携授業」、2014年5月12日、5月19日、5月26日（於：秋田県立大学本荘キャンパス）

2) 「学問別ガイダンス（英語学・言語学）」、2014年8月10日（於：秋田県立大学秋田キャンパス）

岡崎 弘信 教授

## I 著書・学術論文等

### \* 著書

『頻出順英単語2000+』（国際語学社）2014年10月25日（編著）

### \* 学術論文等

- 1) 木戸和彦、福田衣里、橋本信一、岡崎弘信「Windows 開発環境における切替可能な多読練習用 e-ラーニング・ツールの開発」『環太平洋大学研究紀要』2014年3月、第7号、99～104ページ（共著）

### \* Proceeding

- 1) Okazaki H, Watanabe K, Hashimoto S, Suzuki M, Fukuda E, Kido K「Development of an Automatic Judging System for Determining the Difficulty Levels of English Audio Materials」『2014EUROCALL Proceedings』（Research-publishing.net）2014年12月、278～283ページ（共著）
- 2) Fukuda E, Suzuki M, Hashimoto S, Okazaki H「Encouraging self-directed group learning through an e-portfolio system」『2014EUROCALL Proceedings』（Research-publishing.net）2014年12月、102～106ページ（共著）

## II 学会報告等

### \* 学会報告

- 1) Okazaki H, Watanabe K, Hashimoto S, Suzuki M, Fukuda E, Kido K「Development of an Automatic Judging System for Determining the Difficulty Levels of English Audio Materials」Euro CALL 2014、2014年8月20～23日（於：The University of Groningen, Netherlands）
- 2) Fukuda E, Suzuki M, Hashimoto S, Okazaki H「Encouraging self-directed group learning through an e-portfolio system」Euro CALL 2014、2014年8月20～23日（於：The University of Groningen, Netherlands）
- 3) Fukuda E, Suzuki M, Nitta H, Okazaki H「Reading and Writing Activities in Two Languages Using Moodle」The 54th LET National Conference, 2014年8月4～6日（於：Fukuoka University）
- 4) 岡崎弘信、鈴木光子、江原智子、木戸和彦「意図的語彙学習を促進するための e-ラーニングデバイスの研究と開発」外国語教育メディア学会第54回全国研究大会、2014年8月4～6日（於：福岡大学）
- 5) Fukuda E, Hashimoto S, Okazaki H「TED Talks in ESP courses: Focusing on presentation and summarizing skill」The 5th ATEM Higashinohon Chapter Conference、2014年11月29日（於：Reitaku University）

## III 社会活動・受賞等

### \* 社会活動

- 1) 秋田県民芸術祭2014部門委員、2014年4月～
- 2) 秋田県観光文化スポーツ部主催「あきたの文芸」小説・評論部門選考委員、2012年4月～
- 3) TDK 由利本荘(株)英語アドバイザー、2011年6月～

\* 学会活動

- 1) 映画英語教育学会東日本支部委員、2013年11月～

IV 講演・公開講座等

\* 講演・公開講座

- 1) 由利高等学校・秋田県立大学英語連携授業、2014年10月27日、11月17日（於：秋田県立大学本荘キャンパス）  
2) 「教養と遊ぶ」秋田県立大学市民公開セミナー、2014年4月12日（於：秋田県立大学本荘キャンパス）

V その他の活動

\* 助成研究

- 1) 日本学術振興会科学研究費（基盤研究（B））、「テラーメイド型教育カルテの構築と学習最適化の研究」（研究課題番号25282061）、2013年4月～2017年3月、研究代表者  
2) 日本学術振興会科学研究費（挑戦的萌芽研究）、「視線解析と光イメージング脳機能測定を併用した英文読解の個人差特定に関する研究」（研究課題番号24652124）、2012年4月～2014年3月、研究代表者  
3) 日本学術振興会科学研究費（基盤研究（C））、「重大インシデント回避のための航空管制英語の研究」、2013年4月～2016年3月、研究分担者  
4) 平成26年度秋田県立大学学長プロジェクト科研費チャレンジ研究費「工学的手法を用いた英語リスニング教材における難易度自動判定の研究」、2014年4月～2015年3月、研究代表者

\* 選評

岡崎弘信「三度目の選考を終えて」『あきたの文藝』（秋田県）2014年10月24日、第47集、82～83ページ

\* 特許出願

名称「外国語の難易度判定装置」（特願2014-166158）（第一発明者） 2014年8月

\* 学術論文査読

Language Education & Technology Vol.51（1本）

スティーヴン・シュカート 准教授

I 著書・学術論文等

\* 学術論文等

- 1) Mamoru Takahashi & Stephen Shucart 「Using Visual Images in Teaching Vocabulary: A Practice Report」、『秋田県立大学総合科学研究彙報』（秋田県立大学総合科学教育研究センター）2014年3月31日、第15号、71-74ページ（共著）

\* Proceedings

- 1) Stephen Shucart & Mamoru Takahashi 「Motivating Students by Talking about Novels: On Character-driven Novels and Plot-driven Novels」『The 2013 Pan-SIG Proceedings』（全国語学教育学会 分野別専門部会）2014年3月31日、第15号、235-239ページ（共著）

## II 学会報告等

### \* 学会報告

- 1) Stephen Shucart & Mamoru Takahashi, 「Many Reasons that We should Use Hot Potatoes」 全国語学教育学会 (JALT) 分野別研究部会2014年次大会、2014年 5 月10日 (於：宮崎公立大学)
- 2) Mamoru Takahashi & Stephen Shucart, 「Plot-driven vs. character-driven novels II」 日本アメリカ文学会東北支部 6 月例会、2014年 6 月21日 (於：東北大学)
- 3) Mamoru Takahashi & Stephen Shucart, 「Plot-driven Versus Character-driven Stories」 全国語学教育学会第40回年次国際大会、2014年11月22日 (於：つくば国際会議場)

## III 社会活動・受賞等

### \* 学会活動

- 1) 全国語学教育学会秋田支部役員 (広報担当役員)、1999年 6 月～
- 2) 全国語学教育学会 CALL-SIG「CALL-EJ」査読委員

## IV 講演・公開講座等

### \* 講演・公開講座

- 1) 秋田県立大学市民公開セミナー講師「コンピュータを使った教育を覗いてみませんか～Moodle 入門～」、2014年 4 月12日 (於：秋田県立大学)
- 2) 大学高校連携授業講師「高校生英語セミナー」、2014年 6 月 2 日、6 月23日、7 月 7 日 (於：秋田県立大学)

## V その他の活動

### \* 報告

- 1) 全国語学教育学会『The Language Teacher』「秋田支部報告」、2014年第38巻第 2 号、第 3 号、第 4 号、第 5 号、第 6 号

### \* 記事

- 1) Stephen A. Shucart 「You have been in Afghanistan, I perceive」『Kyoto Journal』 Vol.81 2014 年 Winter、29-30ページ

Terri L. Nagahashi 准教授

## I 著書・学術論文等

### \* 学術論文等

- 1) Nagahashi, T. L. 「Collaborative learning: An effective alternative to traditional classroom teaching」『秋田県立大学総合科学研究彙報』(秋田県立大学総合科学教育研究センター) 2014年 3 月 31日、第15号、77～99ページ (単著)



### Ⅲ 社会活動・受賞等

#### \* 社会活動

- 1) ハビタット・フォー・ヒューマニティ2014年3月15日16日、5月24日25日（於：岩手県三陸町越喜来）大船渡市
- 2) 鳥海高原菜の花まつりボランティア、2014年5月31日、6月1日（於：由利本荘市矢島町城内字桃野）
- 3) 英検2級試験監督、2014年6月8日（於：秋田県立大学秋田キャンパス）
- 4) 財団法人中島記念国際交流財団助成による留学生地域交流事業「秋田の農家民泊一体験から持続的交流へ」ボランティアリーダー、2014年10月4日5日、11月2日
- 5) あきたキイチゴ利活用研究会研究員、2008年～（於：秋田県、五城目町）

### Ⅳ 講演・公開講座等

#### \* 講演・公開講座

- 1) 秋田本荘高等学校（スーパーサイエンスハイスクール）「Washoku no kagaku」2014年1月9日（於：秋田県）
- 2) 秋田北陽高等学校（スーパーサイエンスハイスクール）「Development of presentation skills」2014年6月23日（於：秋田県立大学）
- 3) 平成25年度秋田県立大学高大連携授業（Assistant Director）「秋田県立大学に隣接する高校生等によるコンピュータを使っでの英語学習について」、2014年7月20日（於：秋田県立大学）
- 4) JALT2014: Conversations Across Borders 40<sup>th</sup> Annual International Language and Learning Conference「Maximizing short-term study abroad」2014年11月24日（於：つくば国際会議場）
- 5) 平成26年度あきたキイチゴ利活用研究会講演「Utility of raspberry juice, and byproduct (seeds and pulp) in holiday home cooking」2014年12月6日（於：秋田県、五城目町）
- 6) 秋田中央高等学校（スーパーサイエンスハイスクール）「Sustainable energy」2014年12月13日（於：秋田県）

### Ⅴ その他の活動

#### \* その他

- 1) Guam Study Tour Director 2014
- 2) Hokuyo Super Science High School Advisor 2014-2015

### 加賀谷真澄 助教

### Ⅰ 著書・学術論文等

#### \* 著書

- 1) 加賀谷真澄「明治三〇年代の渡米熱—貧困問題、労働運動、『成功』雑誌との関係性—」『秋田県立大学総合科学研究彙報』（秋田県立大学総合科学教育研究センター）2014年3月31日、第15号、55～62

ページ（単著）

- 2) 加賀谷真澄「明治の貧困をめぐる叙述—歴史的な文脈から読み解く」『文学研究論集』第32号、（筑波大学比較・理論文学会）2014年2月、第32号、19－32ページ（単著）

## II 学会報告等

\* 学会報告

- 1) 加賀谷真澄「1900年代の渡米熱」「文学における社会的マイノリティ研究会」、2014年6月15日（於：筑波大学東京キャンパス）
- 2) Masumi Kagaya.'Passion for Visiting to the U.S. in 1900's - in Association with Socialism', ASCJ 2014, 6月21日（於：上智大学）

## III 社会活動・受賞等

\* 社会活動

- 1) 日本比較文学会東北支部役員、2013年6月～
- 2) 秋田県立秋田高校同窓会150年史編集準備委員、2014年8月～

## IV 講演・公開講座等

\* 講演・公開講座

- 1) 大学高校連携授業「コンピュータを使っの英語の授業」、2014年7月20日（於：秋田県立大学）
- 2) 秋田県教育委員会主催、高校生将来設計ガイダンス、学問別ガイダンス「比較文学・英米文学」、2014年8月10日（於：秋田県立大学）

## V その他の活動

\* 助成研究

- 1) 日本学術振興会、挑戦的萌芽研究、「明治に出版された渡米の手引きに関する研究」（課題番号25580060）、2013年4月～2015年3月、研究代表者